

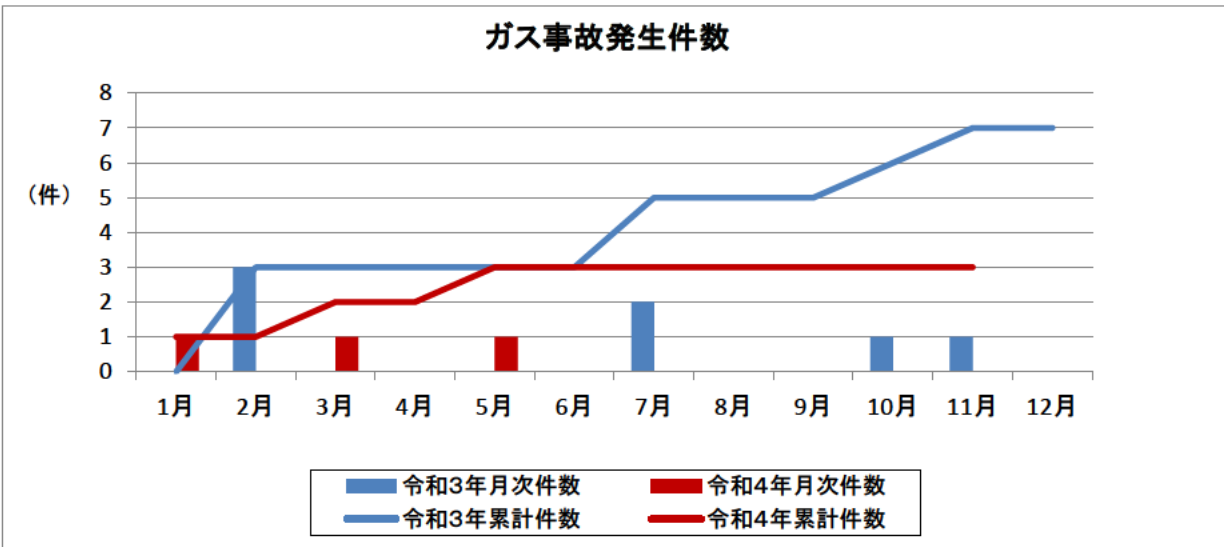
【令和4年】

■管内における事故発生状況(11月速報値)

※ 数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。
※ 当該年の累計は1月から当該月まで、前年の累計は1月から12月までの計を示します。

○ガス事業法(ガス関係報告規則第4条)関連

事故の種別 (事象別)	4年11月分				前月件数	前年同 月 件数	4年累計				3年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
ガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事中のガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
供給支障事故					0	1	0	0	0	0	2	0	0	0
製造支障事故					0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
ガス工作物の損壊事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス漏洩による爆発又は火災事故					0	0	1	0	0	0	2	0	1	0
避難、家屋破損、交通困難等					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費機器使用に伴う人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費機器、ガス栓から漏洩したガスへの引火による事故					0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	7	0	1	1



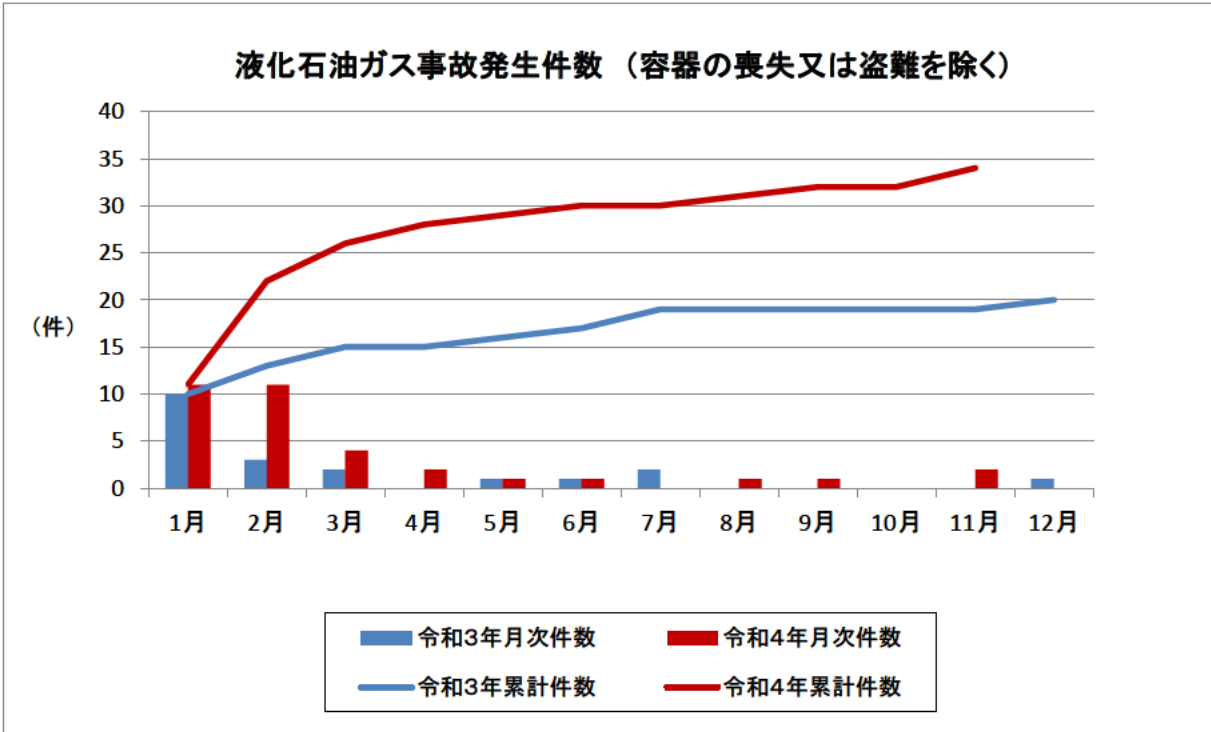
事故の種別 (段階別・事業別)		4年11月分				前月件数	前年同 月 件数	4年累計				3年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
製造段階	旧一般ガス等					0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供給段階	旧一般ガス等					0	0	1	0	0	0	2	0	1	0
	旧簡易ガス					0	1	0	0	0	0	3	0	0	1
消費段階	旧一般ガス等					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	7	0	1	1

○液化石油ガス保安法（液化石油ガス関係事故措置マニュアル）関連

事故の種別		4年11月分				前月件数	前年同月件数	4年累計				3年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
漏えい		2				0	0	12	0	0	0	7	0	0	0
漏えい爆発						0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
漏えい火災						0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
中毒・酸欠						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計		2	0	0	0	0	0	14	0	0	0	8	0	0	0
雪害	漏えい					0	0	18	0	0	0	11	0	0	0
	漏えい爆発					0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
	漏えい火災					0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合 計		2	0	0	0	0	0	34	0	0	0	20	1	0	0
容器の喪失又は盗難		1				3	2	8	0	0	0	15	0	0	0
報 告 総 計		3	0	0	0	3	2	42	0	0	0	35	1	0	0

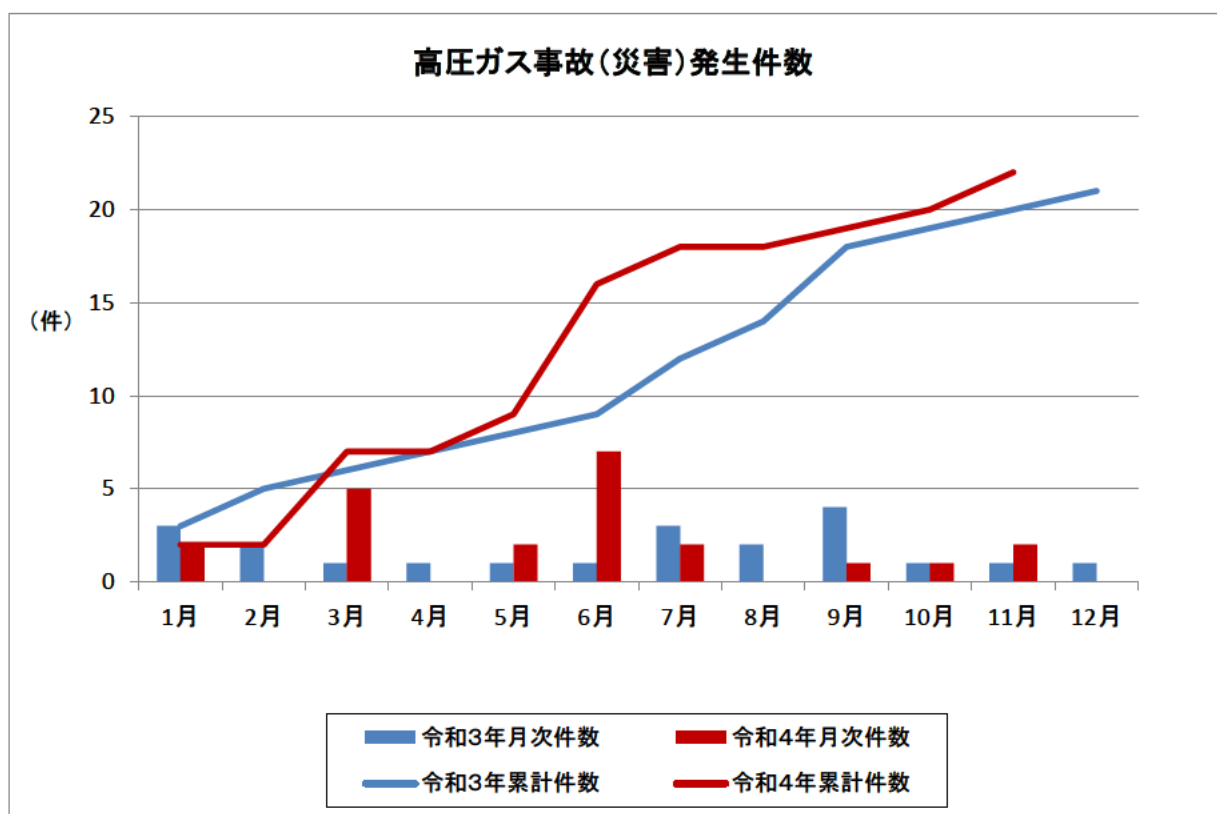
※ 各県から速報のあったものを計上しています（以下、火薬類事故まで同様）。

※ 雪害には、除雪、屋根からの雪下ろし等の人為的なものは含めず、一般事故として集計しています。



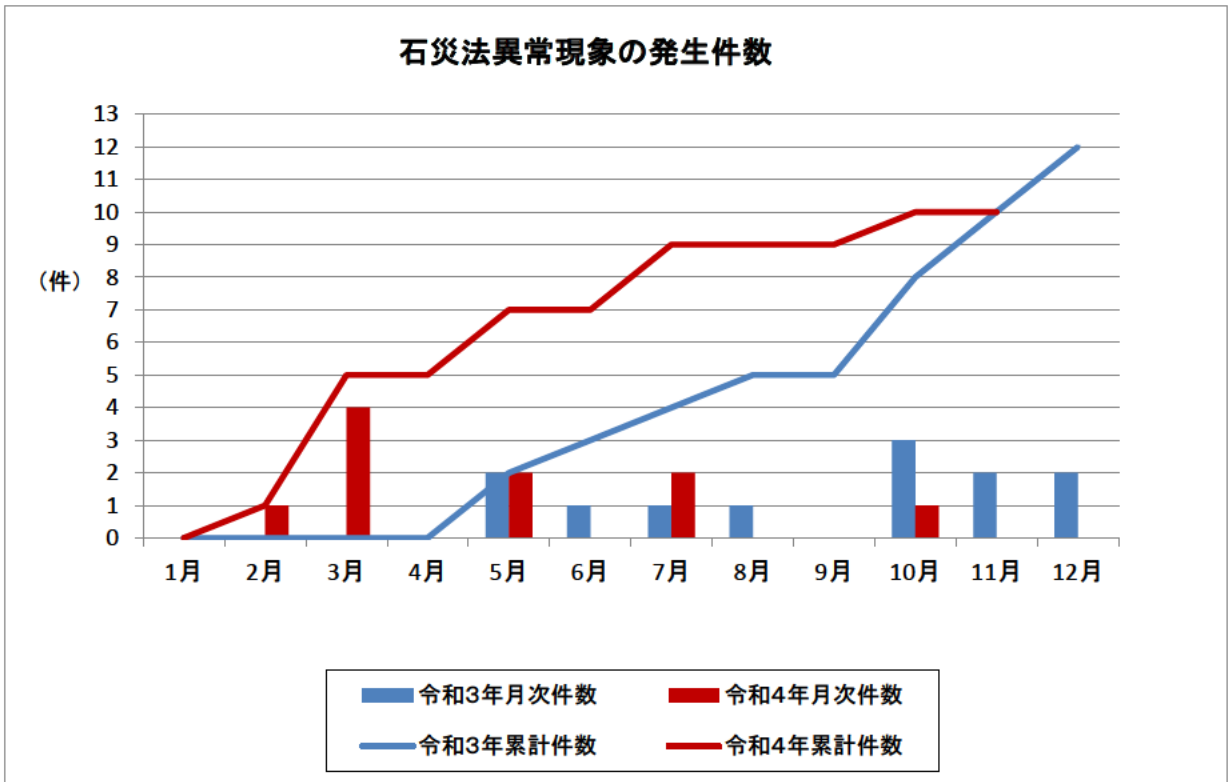
○高圧ガス保安法(高圧ガス保安法事故措置マニュアル)関連

事故の種別		4年11月分				前月件数	前年同月件数	4年累計				3年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
災害	爆発					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	火災					0	1	2	0	0	0	4	0	1	0
	噴出・漏えい	2				1	0	18	0	0	0	16	0	0	0
	破裂・破損等					0	0	2	0	0	0	1	0	0	4
	その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		2	0	0	0	1	1	22	0	0	0	21	0	1	4
容器の喪失又は盗難						0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
危険な状態						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報 告 総 計		2	0	0	0	1	1	24	0	0	0	23	0	1	4



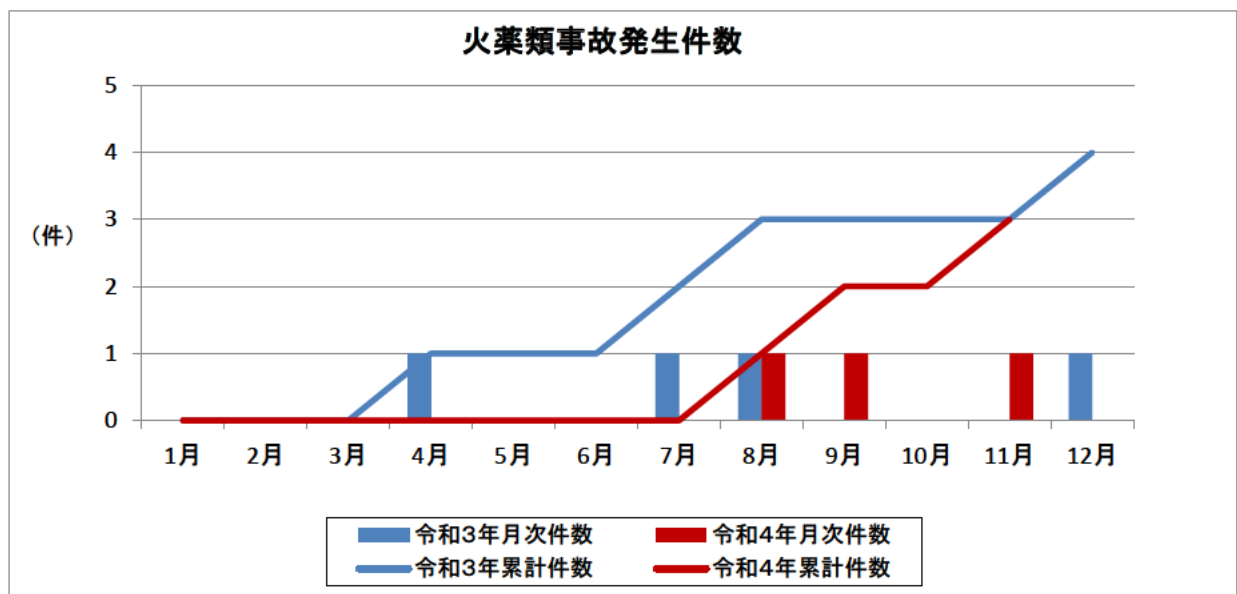
○石油コンビナート等災害防止法(第23条第1項の異常現象)関連

異常現象の種別	4年11月分				前月件数	前年同月件数	4年累計				3年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
出火					0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
石油等の漏洩					1	2	9	0	0	0	11	0	0	3
その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	1	2	10	0	0	0	12	0	0	3



○火薬類取締法(火薬類事故措置マニュアル)関連

取扱の種別	4年11月分				前月件数	前年同月件数	4年累計				3年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
製造中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費中	1				0	0	2	0	0	1	3	0	0	0
運搬中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貯蔵中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がんろう中					0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
その他					0	0	1	0	1	2	0	0	0	0
合 計	1	0	0	0	0	0	3	0	1	3	4	0	0	2



◆令和4年(2022年)の事故概要

○ガス事業法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年5月26日	岩手県	ガス小売事業者	漏えい・引火	消防署から事業者へ連絡があり、コンロ付近が焼損した模様とのことで現場確認を要請された。処理担当者が現場に着き確認したところ、住人がコンロ使用中に、機器前より火が出たが、点火(消火)ボタンは熱で変形して操作できず、水をかけて消火し、消防へ通報したことがわかった。原因は、コンロの経年劣化(製造後30年)により、電磁弁付近から漏えいしたガスに使用中のコンロの火が引火したものと推定される。	人的被害:なし 物的被害:ガスコンロ一部焼損
2022年3月16日	福島県	ガス製造事業者	製造支障	地震(震度6弱)が発生し、導管送ガスおよび発電向け送ガスが緊急停止した。商用電源が停電したため、非常用発電機が自動起動し、保安電力が確保された。(導管送ガスについては、バックアップ供給により導管ガス需要家への影響なし。)津波注意報が解除されたのち、翌日から現場確認を開始し、特別高圧変圧器の異常表示、気化器にLNGを送出するポンプと配管との間に傾斜がつくなど、基礎間の不等沈下等が確認された。応急措置等を行い、各設備の健全性を確認したのち、3月17日に商用電源に切替えを行い、導管向け送ガスを開始。3月19日に発電向け送ガスを再開した。 (製造支障時間:18時間23分)	なし
2022年1月8日	山形県	ガス導管事業者	漏えい・爆発	隣りの敷地で解体工事中に灯外内管を重機で引っかけ、以前使用していた共同内管が事故宅敷地内で損傷し、ガスが漏えいした。漏えいしたガスは、下水管付近を通じて同宅建物に入り込み、ガスコンロの着火により、シンク下収納ボックス内で爆発し、内壁などを破損したものの。原因としては、不使用内管に関する埋設表示が不十分であったこと及び事前に協議がなされなかったことによる。	人的被害:なし 物的被害:建物内壁ボード、ドア

○液化石油ガス保安法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年11月25日	福島県	消費者	漏えい	集合住宅において、バルク貯槽から50kg容器供給へ切り替え工事を行っていたところ、1日目の工事終了後に、ボンベ庫内に保管していたボンベ庫の屋根材の入った段ボールが倒れ、集合装置と高圧ホースの接続部に設置したバルブに当たり、バルブが半開きとなったため逆止弁が作動せずガスが漏えいした。詳細調査中。	なし
2022年11月22日	山形県	消費者	漏えい	集合住宅敷地内の修繕工事中、工事業者が敷地を掘削した際に埋設ガス管を損傷させ、ガス漏れが発生した。原因は、集合住宅の管理者が集合住宅にガス供給している販売事業者に事前照会をせずに工事の発注を行ったことによる。	なし
2022年9月12日	福島県	消費者	漏えい	シロアリ駆除業者が駆除作業をしていたところ、ボンベ庫から集合住宅(8戸)まで埋設されている供給管(ポリエチレン管)を掘削ドリルにより損傷し、LPガスが漏えいした。原因は、駆除業者が埋設ガス管の存在を認識していなかったことによる。	なし
2022年8月23日	秋田県	消費者	漏えい	旧スーパーの建物解体工事中に、工事業者が誤って解体対象ではない隣接しているガソリンスタンドで使用中のバルク貯槽の安全弁を破損させLPガスが漏えいし、消防及び警察が火気の使用制限及び交通規制を行った。誤作業の原因は、発注者、販売店、解体業者間の事前協議の不足による。	なし
2022年6月8日	福島県	消費者	漏えい	消費者から販売店に「ガスの匂いがする」と連絡があり、販売店担当者が現場において、2本の50kg容器のうち1本の高圧ホース接続部から、LPガスが漏えいしているのを確認した。原因は、委託事業者が容器を交換した際に、高圧ホースの接続が不十分であったと推定される。	なし
2022年5月20日	宮城県	消費者	漏えい	一般住宅の外壁修繕工事中に工事業者が誤ってガス管を切断し、液化石油ガスが漏えいし、ガスメーターの安全装置が作動したことにより供給が遮断された。原因は、工事業者作業員の確認ミスによるもの。	なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年4月18日	岩手県	消費者	漏えい 爆発	施設内厨房において、ガスレンジが爆発し、窓ガラス2枚が破損した。原因は、厨房においてガスレンジ内に滞留したガスにガスコンロの火が引火したものと推定される。	人的被害: なし 物的被害: 窓ガラス2枚破損
2022年4月2日	秋田県	消費者	漏えい	消費者より「ガスが漏れている」との連絡が販売事業者に入り、当該従業員が現場確認したところ、バルク貯槽の高圧ゲージからのLPガス漏えいが確認された。原因は、雪の重みによりバルク貯槽に設置されている高圧部のゲージが破損し、ガスが漏えいしたものと推定される。	なし
2022年3月29日	宮城県	消費者	漏えい	集合住宅の消費者からマイコンメーター遮断(BCPガス止め(ガス管圧力低下))の電話連絡が入り、販売事業者がLPガス充てん容器を確認したところ、ガス切れが確認され、漏えい検査の結果、供給管の埋設部でガス漏えいが発生していると推定され、仮設備にて供給対応を行った。原因は福島県沖地震及び余震の影響により、埋設供給管が損傷し、ガスが漏えいしたものと推定される。	なし
2022年3月26日	宮城県	消費者	漏えい	事故発生場所の付近住民から通報を受けた消防所員が現場状況を調査したところ、LPガス容器からガスメーター入口まで延びている供給管の立ち上がり部(埋設から地盤面上に立ち上がる部分)からのLPガス漏えいが確認された。原因は供給管の腐食によるものと推定される。	なし
2022年3月21日	宮城県	消費者	漏えい 火災	飲食店で、仕込み用に使用していた厨房設備のガス配管接続部の低圧ホースが何らかの原因で離脱して漏えいしたLPガスに引火し、低圧ホースが焼損したものと推定される。	人的被害: なし 物的被害: ガス管被覆の一部、ゴムホース
2022年3月8日	秋田県	消費者	漏えい	近隣住民が落雪の音を聞いてガス漏れを発見し、通報を受けた販売事業者が、現場を確認したところ、容器バルブ及び調整器が破損し、ガスが漏えいしていた。原因は、雪害対策が行われていなかったところに、屋根からの落雪により破損したものと推定される。	なし
2022年2月27日	山形県	消費者	漏えい	消費者からガス漏れの通報を受けた販売事業者担当者が現場を確認したところ、50kg容器に接続された調整器が破損しガスが漏えいしていた。原因は、雪害対策が行われていなかったところに、前週に行った雪下ろしにより調整器に雪が積もり、その重みで破損したことによるものと推定される。	なし
2022年2月27日	岩手県	消費者	漏えい	消費者が、落雪の音を聞いて外に出てガス漏れを発見し、容器バルブを閉止後、消防に通報した。通報を受けた販売事業者担当者が現場を確認したところ、容器(50kg×2本)を連結している高圧ホースの片側のねじ込み式継手部分が折損していた。原因は、雪害対策が行われていなかったところに、屋根からの落雪により破損したものと推定される。	なし
2022年2月26日	岩手県	消費者	漏えい	消費者宅の隣宅住人が、落雪の音を聞いて外に出てガス漏れを発見し、販売事業者に通報したのち、販売事業者の指示により容器バルブを閉止した。販売事業者担当者が現場を確認したところ、落雪により容器(50kg×2本)を連結している高圧ホースの片側のねじ込み式継手部分が折損していた。原因は、雪害対策が行われていなかったところに、屋根からの落雪により破損したものと推定される。	なし
2022年2月25日	山形県	消費者	漏えい 火災	消費者が帰宅時にガス臭に気づくとともに警報音を聞いたため、販売店に通報した。通報途中で屋外にて爆発音があったため、消防署へも併せて連絡した。通報を受けた販売店員が現場に到着すると、既に消防隊員が容器バルブを閉止して消火活動中であつた。火災は鎮火したが、建物の外壁が焼損した。原因は、積雪の重みにより、20kg容器2本を繋ぐ連結管が折損し、ガスが漏えいして屋外設置の石油給湯器が着火源となり、引火・燃焼し、火災に至ったものと推定される。	人的被害: なし 物的被害: 建物外壁焼損
2022年2月20日	岩手県	消費者	漏えい	落雪の衝撃によりガスメーターが「地震感知遮断」となり、ガスメーター連動ガス警報器の鳴動により住人が漏えいに気付き、居合わせた隣人が容器のバルブを閉止した。翌日、ガス漏れの通報を受けて出動した販売事業者社員が現場を確認したところ、ガスメーターのガス入口側、出口側のねじ込み式継手配管が折損していた。原因は、雪害対策が行われていなかったところに、屋根からの落雪により破損したものと推定される。	なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年2月20日	岩手県	消費者	漏えい	落雪によるガス漏れを消費者が発見し消防署に通報し、出動した消防隊員が容器のバルブを閉止した後、販売店に通報した。担当者が現場を確認したところ、調整器と容器を繋ぐねじ込み式の配管が折損していた。原因は、雪害対策が行われていなかったところに、屋根からの落雪により破損したものと推定される。	なし
2022年2月20日	岩手県	消費者	漏えい	落雪によるガス漏れを消費者が発見し、容器のバルブを閉止した後、販売店に通報した。担当者が現場を確認したところ、メーターのガス入口側、出口側のねじ込み式継手配管が両方とも折損していた。原因は、雪害対策が不十分であったところに、屋根からの落雪により破損したものと推定される。	なし
2022年2月16日	秋田県	消費者	漏えい	消費者から販売所に通報があり、販売所担当者が現場を確認したところ、配管接続部(継手部)において漏えいが確認された。原因は、雪害対策は行われていなかったところに、屋根からの落雪により雪・氷がたまり、その重みで配管の接続部が破損したものと推定される。	なし
2022年2月4日	山形県	消費者	漏えい	容器が設置されていた屋外仮設物置が、積雪の重みで倒壊し、容器10本中6本が倒れ、接続されていた張力式高圧ホースの接続元が引っ張られ、接続先のアロパイプが折損し、アロパイプ内のガスが漏えいした。原因は、雪害対策が不十分であったところに、積雪による屋外仮設物置の倒壊により破損したものと推定される。	なし
2022年2月3日	秋田県	消費者	漏えい	消費者からガス漏れの通報を受け出動したガス販売事業者の社員が、容器バルブを閉め漏えいを止め、現場の供給設備を点検したところ、メーターユニオン部入口側ねじ部が損傷していた。原因は、雪害対策が行われていなかったところに、屋根からの落雪により破損したものと推定される。	なし
2022年2月1日	秋田県	消費者	漏えい	消費者から「屋外でガス臭がする」との連絡を受け、出動したガス販売事業者社員が現場を点検したところ、調整器に接続している集合高圧ホースねじ接続部が折損していた。なお、容器バルブは、消防隊員により閉止済みであった。原因は、雪害対策が行われていなかったところに、屋根からの落雪により破損したものと推定される。	なし
2022年1月31日	福島県	消費者	漏えい	ガス監視センターから「ガスの使用時間オーバーによるガス遮断が作動した」との緊急時連絡を受けた販売事業者が緊急出動し、配管とエルボ(配管の曲がり箇所を接続する継手)の接続部におけるガスが漏えいを確認した。原因は、屋根からの落雪により配管の位置を超える高さまで雪が積み重なり、その重みを受けた配管が下方にずれ、配管とエルボの接続部が損傷し漏えいしたものと推定される。	なし
2022年1月27日	岩手県	消費者	漏えい	消費者が、氷塊が高圧ホースに接触したような音を聞き、供給設備を確認したところ、LPガス容器に接続している高圧ホースが外れてガスが漏えいしていることに気付き、容器のバルブを閉止した。原因は、屋根からの落雪により、連結用高圧ホースが破損したことによる。	なし
2022年1月24日	秋田県	消費者	漏えい	消防から「ガス臭い」と連絡の連絡を受け出動したガス販売事業者の職員が、消費設備配管ネジ接続部からのガス漏えいを確認し、供給側のバルブを閉止した。原因は、雪の重みにより消費配管の継手ネジ接合部が損傷したものと推定される。	なし
2022年1月23日	福島県	消費者	漏えい	通行人よりガス臭いと消防に連絡が入り、消防から連絡を受けた都市ガス事業者がLPガス容器と高圧ホースの接続部からの漏えいを発見し、事故対応を行った。対応後にガス販売事業者に連絡が入り、事後作業を行った。原因は、容器交換頻度が高い現状から、高圧ホースのOリングが破損したものと推定される。	なし
2022年1月23日	秋田県	消費者	漏えい	消費者よりガスが出ないとの通報を受け出動した販売事業者所員が、ガスメータが遮断され、消費設備配管の一部に破損を確認したため、直ちに配管上流側バルブを閉止した。原因は、当該住宅と隣家の間に堆積した氷雪の重みにより消費設備配管が損傷したものと推定される。	なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年1月21日	福島県	消費者	漏えい	監視センターよりガスメーターの圧力センサー遮断との連絡があり、緊急出動したところ、配管の継手部分に雪が堆積し破損しており、ガス漏れしていることを確認し、停止措置を行った。原因は、継手付近にペーパーライザーがあり、その周りの雪が解けて継手部分になだれ込み、負荷に耐え切れず破損したものと推定される。	なし
2022年1月20日	秋田県	消費者	漏えい 爆発	当該住宅に宿泊していた関係者が起床した際、台所からガス臭がしたので確認したところ、室内に窓ガラスが散乱していたことから119番通報し、出動した消防により容器バルブが閉止された。原因は、屋根からの落雪が蓄積し、単段式調整器の容器接合部に荷重がかかり折損に至り、容器設置場所の脇の通用口扉下部の隙間からガスが流入し、屋内の火気設備が着火源となり爆発したものと推定される。	人的被害: なし 物的被害: 屋内の扉のガラス3枚
2022年1月18日	福島県	消費者	漏えい	厨房内において、ゆで麺機で調理中、当該ゆで麺機とホースの接続部からLPガスが漏えいし、引火してホースの一部が燃えたが、数秒程度で火が消えた。原因は、ゆで麺機側のホースのcockの劣化によるものと推定される。	なし
2022年1月8日	山形県	消費者	漏えい	一般住宅の屋根のつららが落下したことにより調整器が破損しガスが漏えいした。その際、近くで除雪作業中の住人が見ていたため、直ちに容器バルブを閉止した。これにより、漏えい量は微小であった。なお、落雪等の防止対策はなされていなかった。	なし
2022年1月7日	山形県	消費者	漏えい	一般住宅において、消費者が屋根の雪下ろしを行った際、雪のかたまりが調整器のガス漏れ流出防止器に直撃し破損したため、ガスが漏えいした。すぐに消費者が消防に通報し、現着した消防署員が容器のバルブを止めることでガスの漏えいが止まった。原因は、雪下ろしを行う際に、落下先の状況を十分に確認しなかったため。	なし
2022年1月1日	秋田県	消費者	漏えい	店舗管理会社の担当者がガス収納庫からのガス臭に気付く、ガス販売事業者のコールセンターへ連絡した。出動した担当営業所員が確認したところ、気化装置と供給管の接合部分からのガスの漏えいが認められたため、行きと戻りのバルブを閉め、漏えいを止めた。原因は、気化装置と供給管の接合部分のパッキンが劣化したことが原因と推定される。	なし

○高圧ガス保安法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年11月24日	福島県	製造業	漏えい	液化炭酸ガスCE(コールドエバポレーター: 定置式超低温貯槽)及び蒸発器を日常点検していたところ、CEから蒸発器までの配管の一部(蛇管: 銅製のらせん状配管)にピンホールがあり、炭酸ガスが漏えいしている状況を発見した。原因は、経年劣化により腐食が進行したためと推定される。	なし
2022年11月15日	福島県	製造業	漏えい	No2コンデンサークーラーの撤去工事(仮設足場の設置)をしていた作業員がアンモニア臭を感じたため、同クーラー周囲を点検したところ、隣にあるNo1コンデンサークーラーから受液器(冷媒液をためる機器)までの配管にピンホールがあり、アンモニアガスが漏えいしている状況を発見した。原因は、2019年から使用していないNo2コンデンサークーラー周辺を立入禁止区域としており、No1コンデンサークーラーから受液器までの配管敷設箇所が立入禁止範囲となっていたため、日常点検が行われておらず、雨水により腐食が進行し配管にピンホールが発生したと推定される。	なし
2022年10月10日	宮城県	製造業	漏えい	水産物冷凍庫用の冷凍機を運転中、アンモニア漏えいを示す警報が発報し、自動停止した。冷凍機メーカーに対応を依頼し点検したところ、冷凍機停止状態での漏えいは確認できなかったが、運転状態において、冷媒給液用電磁弁本体からアンモニアの漏えいを確認した。原因は、電磁弁の経年劣化(設置後10年以上経過)により本体内部のパッキンが硬化し、シール性能が低下したためと推定される。	なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年9月21日	山形県	高圧ガス販売	漏えい	施設内のカードル(移動式高圧ガス容器連結設備)の交換作業において、カードルに収納していた20本の三フツ化窒素ガス充填容器のうち、4本目の容器元弁開放作業中に同ガスが噴出・漏えいした。原因は設備的な問題と推測されるが、容器メーカーにて調査中。	なし
2022年7月30日	宮城県	製造業	漏えい	水産物冷凍庫用の冷凍機を運転中、警報盤でアンモニアの反応を確認したことから、冷凍機メーカーに対応を依頼し点検したところ、オイルクーラー冷却用アンモニア配管のねじ込み式継手部が緩んでおり、ここからアンモニアが漏えいしたことが判明した。漏えい量は約10gと推定される。原因は、アンモニアの給液装置が故障し、所定の容量以上のアンモニアが配管に入り込んだことで配管内の圧力が通常より高くなり、継手部が緩んだものと推定される。	なし
2022年7月19日	福島県	製造業	漏えい	本年6月から運転を停止していた冷凍機の操作盤工事を実施し、工事完了後に当該冷凍機を試運転したところ圧力が上昇しなかった。再度試運転したものの0.01MPaまでしか圧力が上昇しなかったことから冷媒(フロンR-22)の漏えいが判明した。漏えい量は最大で約33kgと推定される。	なし
2022年6月25日	山形県	製造業	漏えい	集中監視システムで「チラー異常」が発報したため冷凍機(R-17)を確認したところ、高圧側低圧側とも圧力が通常より0.2MPa程度低かった。冷凍機メーカーが調査し冷媒(フロンR407C)を回収したところ、正常な残量14kgに対し回収できた量が3.1kgだったため10.9kgの冷媒が漏えいしたものと考えられる。なお、漏えい箇所特定のため、気密試験を実施したところ、凝縮器内部での漏えいが確認された。原因は、経年劣化によるものと推定される(設備設置後14年経過)。	なし
2022年6月21日	山形県	製造業	漏えい	集中監視システムで「チラー異常」が発報したため冷凍機(R-6-1)を確認したところ、低圧側の圧力が通常(0.4～0.5MPa)より低い0.35MPaであった。冷凍機メーカーが調査し冷媒(フロンR407C)を回収したところ、正常な残量18kgに対し回収できた量が4.8kgだったため13.2kgの冷媒が漏えいしたものと考えられる。原因は、凝縮器又は蒸発器の内部にある冷媒配管に亀裂が発生したためと推定される。	なし
2022年6月16日	福島県	燃料等販売	破裂	セルフガソリンスタンドの泡消火設備内の消火薬剤加圧用窒素ガス容器が破裂した。原因は、経年劣化(設備設置後20年経過)により、窒素ガス容器に錆が発生して腐食が進行し、内圧に耐えられなくなったためと推定される。	人的被害:なし 物的被害:建物外壁
2022年6月11日	宮城県	燃料等販売	破損	オートガススタンドにおいて、車両(タクシー)へのLPガス充てん中に充てんホースがつながったままの状態運転手が当該車両を発進させた。そのため、充てんホースが引っ張られ、セーフティカップリングが離脱したもの(LPガスの漏えいはなし。)。原因は、充てん作業員が充てん中にその場を離れ、運転手が充てん中に車両を発進させたため。	なし
2022年6月2日	山形県	製造業	漏えい	集中監視システムで「チラー異常」が発報したため冷凍機(R-6-2)を確認したところ、高圧側低圧側とも圧力が0.1MPaに低下していた。冷凍機メーカーが調査し冷媒配管にピンホールを発見した。冷媒(フロンR407C)の漏えい量は18kgと考えられる。原因は、経年劣化(設備設置後15年経過)により、冷媒配管と銅配管とのロウ付け接合部にピンホールが発生したためと推定される。	なし
2022年6月1日	福島県	建設業	火災	酸素容器とアセチレン容器を軽トラックに積載したままの状態溶断作業をしていたところ、逆火が発生してホースが燃焼し、アセチレン容器と軽トラックに延焼したもの。原因は、逆火防止装置を付けずに溶断作業をしたため。	人的被害:なし 物的被害:アセチレン容器、軽トラック

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年6月1日	秋田県	製造業	漏えい	アルゴンガス供給設備の容器交換作業において、容器交換後に、容器出口配管と集合管の接続部の漏えい状況を石鹼水で確認し、漏えいがなかったため、全容器元弁を開放し使用可能な状態で待機していたところ、次の日にアルゴン供給設備2系列のうち1系列の圧力低下が確認された。このことから、集合管全体を石鹼水で漏えい検査したところ、1系列の集合管の一部から気泡が出ている状態(漏えい)を発見したため、その系列に接続されている12本の容器バルブを閉止した。原因は、容器出口配管と集合管を接続するティー継手の溶接不良(溶接熱の影響)による腐食と推定される。	なし
2022年5月24日	秋田県	研究機関	漏えい	液化窒素コールドエバポレーター(超低温貯槽)から蒸発器側に出る配管上にある加圧元弁のグランドパッキン交換作業において、当該グランドパッキンが外れなかったため、弁体の袋ナットを慎重にゆるめていたところ、弁体が外れ、液化窒素が全量(約3,500ℓ)噴出したもの。原因は、不具合時に作業を中断し、作業手順を再度協議すべきであったが、協議せずに作業を進めたことによるもの。	なし
2022年5月15日	宮城県	解体業者	火災	ビル解体工事現場の屋上でプロパンガス切断器を使用して鋼材を溶断中、下階天井の断熱材に火花が飛んで引火し、火災が発生した。原因は、断熱材(引火性物質である発泡ウレタン)を除去せずにガス溶断を行ったことによるもの。	なし
2022年3月24日	宮城県	放送事業者	漏えい	機器の故障により、令和3年9月から運転を停止(電源を遮断)していた空調用冷凍機について、冷凍機を廃止するため冷媒ガス(フロンR-22)を回収しようとしたところ、当該冷媒ガスが無くなっている状態を発見した。漏えい量は約40kgと推定される。原因は、機器設置から30年経過し老朽化していたこと、運転停止の際に冷媒を回収していなかったこと、運転停止後に点検等管理をしていなかったこと、冷媒ガス回収の前に発生した福島県沖を震源とする地震が影響した可能性が推定される。	なし
2022年3月18日	秋田県	液石ガス販売事業者	漏えい	移動式製造設備を使用し、販売先事業所内のバルク貯槽に工業用液化石油ガスを充てん終了した際に、同設備のガス漏れ検知器が鳴ったため、確認したところ、移動式製造設備の金属製フレキシブルホースにピンホールが確認され、漏えいが認められた。原因は、経年劣化による腐食と推定される。	なし
2022年3月17日	宮城県	製造業	漏えい	高圧ガス製造設備の安全弁の上流側にある元弁のグランド部から液化天然ガスが漏えいした。漏えい量は不明。原因は福島県沖を震源とする地震の影響によるものと推定される。	なし
2022年3月16日	福島県	高圧ガス製造事業所	漏えい	地震により液体窒素貯槽の気化器が破損し、貯槽内の液体窒素7,500kgが全量漏えいし、気化拡散した。	人的被害:なし 物的被害:貯槽気化器破損
2022年3月1日	福島県	製造業	漏えい	所員が日常点検で構内巡視中、窒素供給ラインEOV(緊急開放弁)付近の配管溶接部に錆びや汚れが見られたため、溶接部に発泡液をかけたところ、気泡(カニ泡程度)が出ていることを発見した。原因は、経年劣化(設置から37年経過)により配管溶接部にピンホールが発生したため。	なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年1月4日	秋田県	製造業	漏えい (2件)	空冷式チラー(冷凍設備)稼働中、2台の空冷式チラーに循環水断水異常が発生し、循環水ポンプが停止している状態を担当社員が発見。メーカー調査の結果、プレート式熱交換器2台からフロンが漏えいしたことが判明した。推定漏えい量は、約52kgと約115kgであった。原因は、循環水配管のドレンバルブの破損による漏水により循環水タンクの水位が低下して循環水ポンプに空気が混入し、循環水流量が低下した状態(循環水断水)を検知して保護装置が作動し、循環水ポンプが停止したため、プレート式熱交換器の水側プレート層で水が停滞してしまい、外気温低下と相まって水停滞部が凍結破損したことにより冷媒側プレート層も破損し、フロンが漏えいしたものと推定される。	なし

○石油コンビナート等災害防止法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年10月6日	宮城県	製油所	漏えい	硫黄脱硫装置群サワーガス洗浄装置付近にある、硫黄を一時貯留する部屋において、2系統ある貯留設備のうち1系統から硫黄がオーバーフローし、漏えいした。発見時、漏えいは既に停止しており、製油所員は直ちに消防へ通報した。 原因は、漏えい箇所上流のサルファーコンデンサ(硫黄ガスをチューブに通し、そのチューブの外側を水で冷やし液体硫黄にする装置)内の未使用チューブ(両端にプラグ施工)に腐食で穴が生じ冷却用水分が入り込み、かつ、プラグが外れことにより水分が液体硫黄に入り込み液体硫黄の熱により水分が突沸したことから漏えいしたものと推定される。	なし
2022年7月8日	福島県	製造業	漏えい	蒸留精製した硝酸を製品タンクに送液中、当該送液配管のバルブが閉止し、硝酸の液が逆流し開放状態になっていた排ガス系統配管に流れ込み、旧除害塔の空気取り入れ口から防液堤内に漏えいした。漏えい量は約128ℓ。 原因は、送液配管のバルブ開閉のための動力装置が硝酸雰囲気により劣化し故障したことから、バルブが自動的に閉止したため。	なし
2022年7月6日	宮城県	製油所	漏えい	所員が減圧軽油脱硫装置の配管のフランジ継手部から蒸気状の物の漏えいを発見したため、当該装置を緊急停止させるとともに、消防に通報した。漏えい箇所は、軽油と水素が流れる配管と四硫化ソーダ注入配管との接続箇所のフランジ継手隅肉溶接部である。 漏えい量を算定した結果、軽油(液体)が約39kg、水素、炭化水素及び硫化水素(気体)の合計が約28kgと推定された。原因は、フランジ継手隅肉溶接部に、内部腐食による減肉で、亀裂が生じたため。	なし
2022年5月9日	宮城県	製油所	漏えい	一般取扱所の棧橋A重油出荷配管から、陸上及び海上にA重油が漏えいしていることを確認したため、消防に通報するとともにオイルフェンスを展張して拡散防止措置を講じ、漏えい箇所の配管の上流と下流のバルブを閉止するとともに両バルブ間の配管内の重油抜き取り作業を実施した。漏えい量は海上に約0.045ℓ、陸上に約6.35ℓと推定。原因は、漏えい箇所が配管支持金具部で、定期補修が十分でなかったことから、配管塗装の劣化が早まり、配管外面の減肉により漏えいしたものと推定される。	なし
2022年5月8日	宮城県	製油所	漏えい	重油脱硫装置群サワーガス(硫化水素を含むガス)洗浄装置付近において、硫黄回収装置の硫黄を一時貯留する二つのタンク両方から液状の硫黄がオーバーフローし漏えいした。漏えい量は約295.2ℓ。原因は、一時貯留タンクの下方に設置されているサルファークーラー(硫黄回収装置の上流側から落差で流れてくる硫黄を温度管理する冷却装置)の入口部等の配管内が錆等のスケールで閉塞状態になったことから上流側へ硫黄が逆流し、上流側にある一時貯留タンクから漏えいしたものと推定される。	なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年3月17日	福島県	発電所	漏えい (2件)	①絶縁油漏えい 変圧器から約2m ³ (2,000ℓ)の絶縁油が漏えいし、防油堤内に溜まったほか、一部が防油堤外(約10m×10mの範囲)に漏えいした(敷地外への流出なし。)。漏えい停止後、当該絶縁油をバキューム車及び吸着マット、ジェット洗浄(洗浄後水はバキューム車で回収)により回収した。 ②塩酸漏えい 排水処理室に隣接する塩酸希釈タンクのレベルゲージが破損して塩酸(濃度35%)が漏えいし、防液堤内に約10.8m ³ 溜まったほか、一部、防液堤外(土壌)にも約1m ³ 漏えいした(敷地外への流出なし。)。漏えい停止後、防液堤内に溜まった塩酸は排水処理設備で中和処理し、防液堤外に漏えいした塩酸は土壌と一緒にドラム缶に回収した。 両件とも原因は福島県沖を震源とする地震によるものと推定される。	なし
2022年3月17日	宮城県	製油所	漏えい (2件)	①重油漏えい 重油貯蔵タンク1基(容量980kℓ中960kℓ入)のドレン配管接続部から約1.3kℓの重油が漏えい。防油堤等により施設外への流出なし。タンク内の残重油の移替え作業を行い漏えい停止後、防油堤内の漏えい重油の回収作業を実施した。 ②原油漏えい 原油貯蔵タンク6基の浮き屋根外周部に原油の油膜を確認。タンク外への漏えいはなし。油膜の回収作業を実施した。 両件とも原因は福島県沖を震源とする地震によるものと推定される。	なし
2022年2月19日	宮城県	製油所	出火	鉄道牽引タンク車へのガソリン給油作業において、給油が終わり、当該タンク車の給油口(ハッチ)からローディングアームを引き上げ収納する際、ハッチ付近で出火したため、直ちに作業員が消火器で消火した。原因は、ローディングアームに付着していた錆とタンク車ハッチとの金属接触で発生した火花により、ハッチ付近でガソリンに着火したものと推定される。	なし

○火薬類取締法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2022年11月19日	宮城県	煙火	消費中	花火大会において、打上中に落下した火の粉が付近の落葉等に着火し、付近の2カ所(27m ² 及び12m ²)に延焼した。現場待機の消防職員及び主催者が消火にあたり間もなく鎮火した。原因は、正常開発した4号玉の火の粉が消えずに事前の散水範囲外に落下し、着火したものの。	なし
2022年9月4日	宮城県	煙火	消費中	有害鳥獣駆逐用煙火1本を使用したところ、5発中、5発目が暴発して煙火を保持していた右手中指を負傷した。原因は本来手持ち用ホルダーを使って消費するところ、直接手に持って使用していたため、負傷したものの。	人的被害:軽傷1名 物的被害:なし
2022年8月19日	岩手県	産業火薬	その他	採石場内において、火薬商の社員が火薬類の廃棄処理中に火薬が爆発し、同社員3名が負傷した。処理していた火薬類の種類と数量は、含水爆薬:24.4kg、導火線:2個。原因は調査中。	人的被害:重傷1名、軽傷2名 物的被害:なし